

第1回 美里町総合計画審議会 総務行政部会 会議録

年 月 日	令和7年7月29日（火）
場 所	本庁舎3階会議室
審 議 開 始 時 間	午前・ 午後 3時35分
出 席 委 員	佐々木秀之委員（部会長）、志田文昭委員、赤間公太郎委員、石垣直樹委員、 武田莉愛委員、西條瑞希委員、片倉利子委員
欠 席 委 員	伊藤啓一委員
出 席 職 員	高橋憲彦まちづくり推進課長（幹事）、佐野仁総務課長、 小林誠樹企画財政課長、門間裕匡税務課長、中川由華会計課長、 芦田竜司まちづくり推進課課長補佐、佐々木達也産業振興課課長補佐、 櫻井紳司防災管財課課長補佐、高橋勲企画財政課係長
審 議 終 了 時 間	午前・ 午後 4時47分

審議開始

—午前・午後 3時35分 開始—

協議

高橋課長

本日は、お忙しいところ、美里町総合計画審議会総務行政部会に御参会頂きまして、誠にありがとうございます。ただ今から、第1回美里町総合計画審議会総務行政部会を開会いたします。開会にあたり、総務行政部会幹事のまちづくり推進課長の高橋から、一言、ご挨拶申し上げます。本日は第一回にお集まりいただきましてありがとうございます。総務行政部会につきましては、ほかの部会の委員さんの構成よりも多く、全員で8人の構成となっております。

本日、都合によりおひとり欠席となっておりますが、8人の皆様に分野ごと専門的なご意見をいただきながら、美里町の次期総合計画に反映させていただきたいと考えておりますので、どうぞ忌憚のないご意見をいただけますよう、よろしくお願いいたします。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

高橋課長

はじめに委員の皆様から自己紹介をお願いいたします。

《委員自己紹介》

高橋課長

ありがとうございます。次に、本日出席しております、町の職員から自己紹介させていただきます。

《職員自己紹介》

高橋課長

部会長が決まるまでの間、部会幹事は、まちづくり推進課長が議事を進めさせていただきます。

それでは、次第に従い、4議事に移らせていただきます。

はじめに（1）部会長の互選についてであります。美里町総合計画審議会条例第6条第3項の規定によ

り、委員の中から部会長の互選をお願いいたします。部会長の選任について、皆様、いかがいたしましょうか。事務局案がございますので、ご提示してよろしいでしょうか。

【異議なしの声】

事務局案といたしまして、佐々木秀之委員をお願いしたいと思っておりますが、部会長につきましては、佐々木委員を選任することで、ご異議ございませんでしょうか。

【異議なしの声】

高橋課長 それでは、部会長につきましては、佐々木委員をお願いいたします。佐々木部会長に進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

佐々木部会長 部会長を務めます佐々木です。早速議事の（２）部会長代理の氏名について、にうつります。部会長代理については、美里町総合計画審議会条例第６条第５項の規定により、委員の中から部会長が指名することとなっております。部会長職務代理につきましては、志田委員をお願いしたいと思いますが、皆様、ご異議ございませんでしょうか。

【異議なしの声】

佐々木部会長 それでは、部会長代理は、志田委員をお願いいたします。ここで、西條委員が午後４時までに退席するとの申出がありました。事務局からの説明の前に、現時点でのご意見・ご質問があれば伺います。

西條委員 どれも重要な施策だと思います。まずは地域にとって一番重要なことは、人口減少の抑制・移住定住のところかと感じておりますので、各ジャンルそこの目的に向かっていけたらいいのかなと考えております。

佐々木部会長 先ほど、他市町村から移住されたと仰っていましたが、移住前に比べて美里町のいいところは？

西條委員 小牛田駅周辺に保育園や新中学校があり、子育てする立場としては、すごく安心して過ごせるかなと思っております。

佐々木部会長 今日はここで退席となり残念ですが、次回以降もよろしくお願いいたします。第３期計画の内容審議について、本部会では、基本計画討議要綱の施策２７から施策３５について、内容審議を行いたいと思います。では、事務局の方から説明をお願いいたします。

高橋課長 それでは、私の方から討議要綱の説明をさせていただきます。まず、資料３－２基本構想討議要綱との兼ね合いについて説明いたします。２ページ目の将来目標の実現に向けた基本的方向性（１）主要課題の解決に向けた基本的方向性、こちらに５つの主要課題に対して基本的な方向性を示させていただいていますが、アの項目「心、わきたつ」まちづくりの推進。こちらの項目が直接関わってきます。また、次ページの（２）各分野における取組の基本的方向性、こちらは６つの分野から取り組むと示しておりますが、

ア【まちづくり】の分野では「心、わきたつ」まちづくり、カ【行財政】の分野では、持続可能なまちづくり、大きくこの2つの項目が総務行政部会で審議していただく内容と関連しています。

こちらを踏まえまして、資料3-3 総務行政・まちづくり編の協議要綱を説明いたします。

施策27 移住・定住を促進するための対策といたしましては、27-1 施策の目的を「人口減少を抑制するため、魅力的なまちづくりを行い移住・定住を促進します。」としております。

27-2 現状と課題には、この施策における現状と課題を①～⑤まで記載しております。

27-3 施策の展開では、現状と課題に対する施策の展開として①～④まで記載しております。

基本的には現状と課題の各番号に対して、施策の展開で同じ番号を振っています。場合によっては2つの課題で1つの展開となっているものもございますので、番号が合わないところがありますがご了承ください。

27-4 施策の指標でございます。こちらは内容が記載されておきませんが、具体的にはこの施策の推進のために目標を設定させていただき、可能な限り数値目標も設定させていただき、今後、施策の展開の進捗管理を図るため指標を設定するものでございます。こちらにつきましては、第2回目の会議でお示しますのでご意見をいただければと思います。

27-5 施策の主な取組（関連する事務事業）につきましては、上に示した施策の展開の番号ごとに「①官民連携住環境整備促進事業」「②空き家空き地利活用促進事業」「③地域おこし協力隊設置事業」「④後継者対策事業」と関連する事業名が記載されております。各施策について同様の構成となっております。

施策28 が地域公共交通を充実するための対策

施策29 が再生可能エネルギーの利用促進と脱炭素の推進

施策30 が地域運営組織・住民活動を活性化させるための対策

施策31 が関係人口の拡大と住民交流を促進するための対策

施策32 が非核・平和社会の理念

施策33 が行政運営の効率化とDXの推進

施策34 が公共施設を総合的・計画的に管理するための対策

施策35 が財政を健全化するための対策となります。

これらの各施策について、委員のご意見を反映させていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

佐々木部会長 ありがとうございました。お一人ずつご意見いただければと思います。

赤間委員 DXについて、お話したいのですが

最近、AI等で急激に世の中は進化しておりますが、AIの登場前は人がまとめ・作業し、すべて人が行っていた。対人での指示では関係性が悪化するところもあるので、積極的に採用するべきだと思う。ただ、採用するにあたりしっかりと勉強会などの機会を設けるべき。そのうえで、導入の判断をしたらいいと思う。

- 佐々木部会長 この話は、A I を積極的に活用していくが人が得意なところは人がやり、A I が得意なところはA I に任せるというところに近いですね。
- 赤間委員 近いですね。私は仕事でも使用しているのですが、入口・中間・出口があったとして、中間はバリバリやっていていい、導入の原案・諸案の作成は人間（頭）で考え、それをわかりやすいようにヒント・実行する判断をくれるのがA I の仕事だと思います。
- 佐々木部会長 すごく重要なことですね。学生のレポートでもチャットG P Tが出てきていますが、やはり最初の着想・発案等は議論をするようにして、真ん中のところでA I を活用し最後はみんなで決めていってほしい。何でもかんでもA I に頼っていたらおかしいことになってしまいますね。短時間で済むのかもしれませんが、逆に時間がかかってしまう恐れもありますね。
- 石垣委員 私は不動産会社ですので、移住定住の部分なのかなと。
この業界に入って約20年になりますが、当時と比べてものすごく中古住宅が増えていると感じております。最近、うちのお店にご相談の方がいらっしゃるとだいたい「空き家を何とかしたい」「空き地を何とかしたい」「親が亡くなって相続したけれどどうしたらいいのか」という相談が非常に増えてきています。その分、入る家は増えている一方で、人は減っていつている。人を呼び込むアイテムはあると思う。工夫次第では人を呼び込むことは可能なかなと思っています。
それと、昨年の7月に宅建業法が改正になり、我々不動産会社の報酬がものすごく上がりました。3、4年前までは100万円の中古住宅だと5%が我々の報酬でした。それが法改正で、最低33万円もらえることになった。それに伴い、今はネット上の中古住宅がものすごく増えてきている。なぜかという、不動産会社が見向きもしなかったような案件を扱うようになって市場にたくさん出てきている。これは、地方だと物件も安く買えるから移住しようかなという方にとっては、ものすごく良い展開なのではないかなと思っています。そこを活かして、町としても人を呼び込む材料にしないといけないし、我々もそれを商売にしていけないといけないなと思っています。
- 佐々木部会長 最先端の情報をありがとうございます。最低33万もらえると言っておりましたが、10万の安い物件でももらえるということですか？
- 石垣委員 そうです。ですが、33万であっても処分したいというニーズがあります。もっと言えば、今ネットには無料の物件を紹介するサイトがあります。掲載料も無料です。仲介手数料33万円払ってでも引き取ってほしいという方がいると思います。
- 佐々木部会長 ありがとうございます。美里町の空き家バンクは、10年ほど見てきましたが、不動産屋とやりとりするのは難しくて、こうやって協定を結んで本格的に不動産の方に専門的に入っていただける、あるいはそれが生業になっていくような話になってくるのであれば、空き家バンクも次の段階にくるのかなと思いました。そして、そこで移住政策とどう結びつけるかと思いました。

協定を結んでいるのであれば、きちんとモデルケースを作り、やっていくと評価は上がるのではないかと思います。空き家バンクで移住はきますか？

石垣委員 移住はほとんどないですね。大崎市の空き家バンクには、大崎市からこういった人が移住したいので紹介してください。というメールが2か月に1回ほど来ます。

佐々木部会長 資産として買う方はいますか？

石垣委員 資産として購入する方は居ません。住みたくて連絡を寄こす方は、ものすごく田舎を好み、古川の中古物件ではなく、鳴子・鬼首などを希望している傾向があります。

佐々木部会長 そういう意味では、美里は都会であり田舎でもあるみたいなところですので、そこら辺も、議論を進めていけたらと思います。

片倉委員 私は、専門的なことはなにもお話できませんので、なにをお話したらいいのか、今の段階では分からなかったのですが、日ごろ思っていること「心わきたつまづくり」ということで、私は30数年前に南郷に嫁いできました。田舎から来ましたので、とてもいい地域で生活ができるなと思っていました。最近は近所で全く子どもの声が聞こえない、お年寄りばかり、家も空き家ばかり、これをなんとか止められたらいいな、これ以上過疎化しなければいいなと日々思っていました。そういったところで、なにかお役に立てればいいなと思い来しました。

佐々木部会長 そうですね、南郷は過疎地域指定にもなりましたけれども、南郷地域に対する過疎対策を進めるという方針も出ておりましたので、なにか思いついたら具体的な話をしていただければと思います。

武田委員 資料の色んなところに書いてあると思いますが、若者や女性に多く選ばれる地域になるために、私がこれまでやってきたSNSの発信というところで、施策33の内容になるかと思いますが、SNSを活用したプロモーション戦略を強化しとなっていますが、今も職員さんの中で産業振興課や個人でアカウントをもって発信していると思うので、そういったところを、担当できる人数が限られていると思いますが、若手の職員も結構いると思うので、そういった方を対象に、SNS担当までとはいかないものの自主的に発信できる人材はたくさんいるはず。

若者や女性がSNSを活用している印象があるため、興味付けをし、町に関心を持ってもらうきっかけづくりができるかなと思います。それを内部の人がやるのか、地域の高校生や若者を巻き込んで、自分事のように町を好きになってくれる人を増やして、自然に発信したくなるような町にしていく。そういった企画に繋がれば、若者や女性に選ばれる地域に一步近づけるのではないかと思います。

佐々木部会長 協力隊で美里町のプロモーション発信をしてきましたので、どんどん言っていて、政策に取り入れていきましょう。SNS戦略で女性や若者にアプローチしてくというのは、絶対必要ですよ。情報をわかりやすく、そしてキラキラさせて発信し続けるというのは絶対必要だと思う。そういったところで、自分でやるつもりでなにか具体的などところを入れていってほしい。協力隊を3年終わった後、どういうふうになっていくかが重要だと思いますので、こうして委員として関わってもらい、また色々な関わりがあ

と思いますので、そういったところを描いていただき、美里町地域おこし協力隊の今後の PR にもなってくれると思います。

美里町の協力隊と関わってみて、かなりうまくいっていると思います。隊員の方々が成果を出し、美里町に人が来ている。協力隊を卒業した人がどう展開していくのかが見られていくと思いますので、その発信も重要かと思います。

先週、大学のオープンキャンパスがありましたが、やはり高校生がたくさん来ます。我々の話も聞きますが、学生が話すと具体的になります。例えば、協力隊を終え、今こういったことをしています。委員もしていますというところを見せていくことでつながっていくのではないかと考えていました。

志田委員

私、支店長をやる前は本部に20年間いました。そのうち17年間は資金の運用をしておりました。9兆円ほど預金をお預かりし、そのうち6兆円を貸出、残り3兆円を株など債券運用。耳慣れない資金証券部で17年やってきました。そこでお伝えしたいのが、色々してきた中で一番見ていたのは経済の状況です。

今ではなく、結構昔のことまで研究しております。七十七銀行の見解というよりも個人としては、先ほど周りから子供の声が聞こえないと言っておりましたが、投資をするとき日本は、オペレーションカーブというのを見ます。オペレーションカーブというのは、人口の形状のことです。日本は高齢が多いので上の方です。魅力的なのはインドネシアのような若年層が多いところ。一番重要なのは30～40代、子育てや家を建てるというところの労働人口にあたるようなコアなところがあたるかどうかで国の魅力が上がる。そして、研究をしていると出生率を上げるということは至難の業だと思います。

昔も経済が成熟していくと教育水準が上がっていき出生率が下がる特徴がある。逆に教育水準が上がらないと多産多死となります。これが産業革命です。それだけ今日本がおかれている人口減少という病で一番怖いところは、危機感をうまないところ。大震災やコロナであれば危機は目の前にくるのでみんなこぞってそれに対応しようとするが、人口減少や少子高齢化というのは今に始まったことではなくて、2001年に会社に入りましたがその時にはすでに言われていた現象です。なので、相当頭を練らないと難しいです。

もうひとつ、財政運営のところでコロナ前とコロナ後の持続可能な行財政運営、コロナ前とコロナ後で何が大きく変わったかという、単純に物価高騰です。美里町でもこの計画は財政の中で織り込んでいると思いますが、国が示す2050年、60年の計画というのも、毎年2%の物価上昇を前提に物事が図られている、それを前提に人が減る、そして物価が上がる。そこを考えながら町のことを考える必要がある。と私は理解している。その中で、企業でいえばトップライン、歳入の部分をどう伸ばすか、先ほど赤間さんが言っていたAIを使ってどうやって生産性を上げるか、あるいはコストを下げるのか、この2つが肝になるのかなと思っています。

前者のトップラインについては、やはり美里は田園風景がきれい。この土地は電車が交差する場所であり、色んな地域の方が小牛田駅中心に入り組んでいるので文化的な、色々なことにチャレンジする精神も土壤もあるのではないかなと思う。では、何が出来るか？この地域でいうとやはり鉄道をテーマにしたこと。

私はどうしても経済・金融の観点から見てしまうので、雇用がこの町に生まれないと難しいのかなと思います。宮城県の学生6～7割が東京に流れてしまうのは何故か。それは単純に魅力的な企業・働き口がないから。魅力的な企業があればそこに残ると考えるのが自然。銀行でもここで働きたいと思える企業づくりに取り組んでいるところです。もう一つの生産性の向上では、まさしくDXで、DXを導入する目的

は仕事を楽にすることではなく機械に任せられるところは任せ、余った時間で付加価値の高い仕事をやること。七十七銀行でも、マイナス金利という、人類が体験したことのない政策で徹底的に事務を排除するという取り組みを行いました。70年80年代の高度成長期の前ぐらいまで人が減る。そんな時代が来るという中でいかにやるか。人口減少を抑制するために、なにかはできるはず、そして、その要素もこの美里町にはあると感じています。

佐々木部会長　　今の話でも30～40代とキーワードが出ていましたね。今回の総合計画の中でも、もちろん行政ですので、公正公平にとあると思いますが、65歳以上の満足度が高くて嬉しいのですが、施策はどこにターゲットを置くかというのは、今の情報をもとにターゲティングを取り入れていいと思っておりま

す。もう一つは、危機感。総合計画なのでまんべんなくといきたいですが、どこに危機感を持ってやるのか。人口減少にももちろん危機感を持たないといけませんが、人口はある程度落ちると、前提をもって、それ以外の危機感を持つ。人口減の計画は立てられないというのはあると思いますので、社人研のデータや美里の推測で人口を設計しますが、人口を思いきり減少させるとなると国の予算をもらう点等でやりにくい部分もあると思います。全国で人口を増やす取り組みを行っていますが、人口減少の「病」の部分でどこに危機感を持つべきなのか、掘り下げていくべきだと思います。

また、まちづくりの伸ばしていくところと一緒に財政の健全化もはいつているんです。財政の部分はどう考えていくのかということなんですけれど、国の予算をどう取ってくるか、ふるさと納税でとってくるかということがありつつ、どこのコストを下げるかをやりつつ、移住者の獲得という話をしていく。土台の部分が必要になってくるのではないかな。移住政策では美里町がモテなければいけない。そのためにはどうしたらいいか。これまでの行政運営は無理をしない姿勢が目立ちました。議会対応などを考えると分かりますが、ただ、どっかで無茶はしていないと「心わきたつ美の里へ。新しい大好きを」にはならないと思います。ぜひこれから目標や指標を決めていくときに、土台はおさえつつ何かしら無茶するような、指標の欄を作り変えて「心わきたつ指標」を導入し、無理にKPIを設定しないで、やっていくようなものを作っていけばいいと思います。美里町の一番いいところは、全部自分たちで作っているところです。全体に関することになりますが、指標の所に心わきたつ指標の設定はどうでしょうか。

小林課長　　指標について何か良い表現ができないか考えていました。現計画の指標の達成率と住民満足度は乖離があり、指標の背景を読み取っていかないと一概に良し悪しが決められないと思っています。人口減少社会の中であって、8割程度が維持目標になってくると考えています。残りの2割でチャレンジをしていきたいという思いがあります。チャレンジ目標を佐々木先生がおっしゃられた「心わきたつ指標」のように皆さんと共有できる指標に出来たら良い計画書になるのではないかな。その方向を含め検討していきたいと思っています。

佐々木部会長　　税務課長さん、税務などお金のところでもなにか心わきたつようなことを議論されていることはありますか？

門間課長　　総合計画なので、対外的にというところでは少ないのかなと思います。町民の方に税金を納めていただく中で、ときめくことをどれだけ見出せるかとなると、働く方も納める方も、わくわくはありません。ただ、仕事をするうえで事務方のモチベーションが上がる、という表現ではあるのかなと思います。そうい

ったところが総合計画に繋がればいいと思います。

佐々木部会長 特に行政のお金の部分で譲れないところもあると思います。「心わきたつ」といった時に、土台となるのは住民もそうですけれども、行政の皆さんだと思います。行政の皆さんがチャレンジしたいと思い、それが町民の皆さんと共有できればいい。

小林課長 次回まで各分野で1つ2つ魅力的な取組を作っていきたいと思っています。

佐々木部会長 行政の皆さんは自分の仕事にもなってしまうので、重たくなるとは思いますが、ちょっと無茶なことをみんな考えていくといいと思います。それに対しては、数値目標や責務をくっつけなければ、いいんじゃないかと思います。高橋さんどうですか。

高橋係長 数値的な部分と紐づけなければ考えも広がるのではないかと思います。

佐々木部会長 心わきたつ指標のようなものを作り、チャレンジしたいことを箇条書きで案を出していき作文していけばいいと思う。そういうものを総合計画に入れていくことで、コンセプトと指標を結び付けられると思います。最後に委員一人ずつコメントをいただきます。

赤間委員 心わきたつ指標ということで、刺さるというのは尖っていないと刺さらない。実現可能な指標とは別に、構想でもいいのでなにか意見が出せるといいなと思いました。次回もよろしくお願いします。

石垣委員 私自身、知らないことを勉強でき、審議会のためにも自身の仕事にも活かせる部分をたくさん頂きましたので、そういったものを含めながら次回に向けて考えていきたいと思っています。

片倉委員 本日はとてもいいお話をたくさん聞けて良かったです。次回に向けて資料を読み直し考えていきたいと思っています。

武田委員 SNSなどに関しては話せるかなと思っていましたが、ほかの分野に関しては協力隊をしていたにも関わらず、分からないことが多いですが色々なお話を聞き次回以降もアイデアなど出していけたらいいなと思いました。

志田委員 改めて人口減少について考えるとなったときに、何かをすることを決めるというよりも、真正面から分析する、ほかの地域ではどのような取り組みをしているのか、それに対応する緊急のPTやワークショップなど継続し、実証と検証のケーススタディが一つの大きな政策になるのではないのでしょうか。

佐々木部会長 まちづくりを検証していかなければならないというのは、まさにこの部会の役割になっていくのだと思います。それでは、時間になりましたので本日の議事は終了となります。

限られた時間での審議となりますので、委員の皆様には、次回8月19日に向けて、事前に審議箇所について確認、意見等を整理していただいた上で、会議に参加いただけますようお願いします。また、審議

に際し、必要な点がございましたら、事前に事務局へ連絡いただけるようお願いします。それでは、これで本日本日の議事の一切を終了したいと思います。皆さん、長時間にわたり、大変お疲れさまでございました。それでは、進行へお戻しします。

高橋課長 次に、5 その他でございます。委員皆様から、何かご質問、ご確認などございますか。

【なしの声】

高橋課長 それでは、事務局からご連絡いたします。次回開催は、令和7年8月19日（火）14時30分から、場所は、役場本庁舎3階会議室となります。委員の皆様へは、改めて開催の通知を行いますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、以上をもちまして、第1回美里町総合計画審議会総務行政部会を終了いたします。ありがとうございました。

審議終了

—午前・午後 4時47分 終了—

作成者 まちづくり推進課 高橋 憲彦